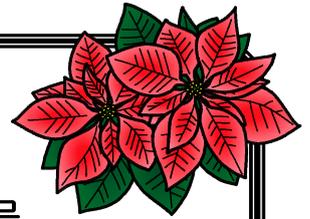


和木小学校コミュニティスクールだより

緑の風



<http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/>

令和6年・12月号

E-mail wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp

校訓 道を行うに誠実をもってせよ

祝 開校150周年記念式典挙行

校長 河口龍裕
令和6年11月30日土曜日、開校150周年記念式典を挙行いたしました。当日は、天候にも恵まれ、本校児童に加え、和木町内外からの多数のご来賓、保護者の皆様、地域の皆様、合わせて約600名の方々にご列席いただき盛大に執り行うことができました。

本校は、学制発布2年後の1872（明治7）年12月に創立いたしました。創立当時は、民家の一室からスタートし、和木の皆様の教育にける熱意や期待、そして、手厚いご支援を受けながら発展して参りました。本年までに9836名の卒業生を送り出し、あらゆる分野で活躍されている優秀な人材を数多く育成して参りました。この度、皆様と共に150周年をお祝いできましたことを大変誇らしく、嬉しく感じております。

当日は、記念式典に続いて、150周年事業の1つとして公募して作成した「スクールキャラクター」のデザインを考案してくださった大原朱見様（和木町和木）の表彰式を行いました。大原様がデザインしてくださったキャラクターの「わっち」は、学校や地域で末永く愛されることと思います。

続いて、同じく記念事業として作り上げた和木小応援歌「希望のバトン」を全校児童が斉唱してお披露目をしました。10月に行った児童へのお披露目と歌唱練習の様子のVTRや作曲を担当してくださった善岡慧一様（本校卒業生で音楽グループの「Official髭男dism」のサポートメンバー）からのビデオメッセージの上映も添えました。

その後の記念講演では、スキー事故の怪我で全身麻痺の状態になりながら、懸命なリハビリにより再び教壇に復帰した神奈川県元中学校体育科教諭の腰塚勇人先生から「命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～」と題してご講演いただきました。事故による後遺症により一生寝たきりになるとの宣告を受け、自殺未遂をされますが、周りの人々の励ましや支えを受けて奇跡的な回復を遂げられました。この体験を通して自らに誓うと決めた「5つの誓い」をはじめ、辛い体験や愛にあふれる励ましを受けた体験を元にして、私たちに人との関わり方や自分の心が本当に喜ぶ生き方とはどういう生き方なのかということについて語りかけてくださいました。200周年に向けてこれから歩んでいく子どもたちに感動と示唆をいただいた記念講演会でした。

午後に開催しました児童会企画「未来につながる笑顔と希望の150祭（さい）」では、全校児童が日頃学習してきたことを活かして、ご来校いただいたお客様を創意工夫した企画でおもてなしました。和木学園のキャッチフレーズ「みんなが生徒みんなが先生」の通り、児童が主体的に教え、説明する場面や一生懸命おもてなしする姿が校内あちらこちらで見ることができました。

式典当日まで中心になって準備、運営を行ってくださった轟 実行委員長様はじめ、記念事業実行委員の皆様、ご支援いただきました全ての皆様に衷心より感謝申し上げます。

